

防災便り

NO.3

自主防災の基本

自助：自らの【命・家族・資産】は自ら守る

近助：防災は【近所の助け合い】が大切

共助：自主防災は【B藤沢自治会】主体の自主防災隊

被害をできるだけ小さくする

情報発行：B地区藤沢自治会(自主防災隊)

地震発生時の行動指針

平成27年6月発行

国や自治体だけに頼る防災・減災には限度があります。自らの命(含む家族)は自ら守る自覚を持つことが防災・減災の基本です。

- (1) 警戒警報(東南海地震・南関東地震)……安全への行動

緊急地震速報(藤沢市からの)……安全への行動

- (2) 地震発生……身の安全確保

A. グラツツ！大地震がきたら直後の落ち着いた行動があなたの命を守り、二次災害を防ぎます。

B. 家にいる時は、まず机又は、テーブルの下へ……勝負は発生後の3分間です。生死を分けるのは、この3分間です

C. 揺れが少し収まって歩行が可能になったら

- ① 火の始末……ガスの元栓を閉め、電気製品のコンセントを抜きましょう。

次にブレーカーを落とす。もし、火が出ていたら備え付けの消火器等で初期消火。

- ② 脱出口の確保……玄関のドアや窓を開けて下さい。逃げるのは、その後です。



- (3) 地震がおさまった直後……火元の確認

A. 火元の再確認 B. 水を貯める…浴槽に水を貯めましょう。
これは、飲料水ではなく、トイレ等の為に使用する生活用水です。

何よりも水の確保が第一です。水道管が破裂してもある程度の水は出るはずですよ。



- (4) 地震発生 ～ 10分後……家族・家屋の確認

A. 家族の安全確認……倒れた家具の下敷きになっていないか？ 家の中を見回ります。

B. 靴などを履く……ガラスの破片などが危険です。絶対に裸足で歩かないこと。
厚手のスリッパ等で家の中も歩きましょう。

C. 家族や家屋の状況確認……念の為、もう一度、ガスの元栓を閉めたか？
ブレーカーも落としたか？

自宅に異常がなく家族の安全が確認できたら、「我が家は安全である」の目印の白いタオルを見える場所(玄関等)にかけて下さい。後で巡回した防災隊員が見回った時の「安全の家」の目印になります。



- (5) 地震発生10分～20分後……近隣の安全確認

A. 漏電・ガス漏れに注意……ガス漏れがないか家族で確認、ブレーカーが落ちていれば、漏電もないはず。

B. 近隣の安全確認…行方不明者はいないか、怪我人はいないか、特にお年寄や身体の不自由な方、一人住まいの方、要援護者家族の安否を確認しましょう。安全な家と確認とれたら白いタオルをかけるよう、働きかけましょう。

C. 火災による延焼防止に協力…火災発生時は、大声で近所に声をかけましょう。外置き消火器を使って消火。

(日頃から消火器の場所確認) 場合により、集会所わきの防災倉庫から必要備品を移送するよう、要請して下さい。

延焼を防ぐ為、あるいは、延焼時間を遅らせる為、雨戸は、閉めましょう。

- (6) B地区藤沢 自主防災隊 連絡本部 (集会所)に家族や近隣の状況報告